親準備性の研究(その4)

現代主婦の育児行動

井上 義朗 (東京学芸大学)

現代の一般主婦群に焦点をあて,子どもへの期待や 育児観などについて調査し,前回の専門職群と比較す ることを目的とした。

調査期間:昭和59年7月~9月

対象は学童をもつ母親で、小学校通しで実施、北海道2校525名、千葉県1校183名、東京都1校308名の計1,016名の主婦に対して、前回と同様アンケート調査法を用いた。結果に記載した数字の、初めが主婦群、2番目が医師群、3番目が教師群で、()が1つのものは専門職群(医師群と教師群)である。

(結果) (数字は%) A) 対象の

1) 年齢

OOSEDIT	(66.9) 9 (31.3) 75	币群 1.3 1.3
---------	-----------------------	------------------

2) 現職

フルタイム パートタイム 専業主婦 自営手伝い	25. 1 25. 6 27. 5 15. 3	(24.8)	(89.5) (6.5) (3.8)
内職	2. 1 4. 4	(2.0)	(0.2)

4) 特技・資格 (あると答えたものの上位 7)

第 道記 道道	27. 0 13. 9 12. 1 9. 5 7. 6
着付	7.6
タイプ	5. 1

5) 子ども数

	1人	7.5	(20, 4)
	2	57.7	(42.7)
ĺ	3	29.6	(22.8)
	4	4. 1	(5.3)

B) サンプルの育った環境

6) 兄弟数

1人	3. 3	(5.3)	
2	10.9	(25.6)	
3	17.4	(34.2)	
4	19.7	(19.4)	
5	18.5	(7.9)	
6	12.4	(3.7)	
7	6.3	(2.7)	
			_

7) 父親の人柄

3) 最終学歴

中学校 高等学校	31. 0 51. 4
専門学校	10. 7
短大	5. 0
大 学	1.9

仕事 一途 の 人 意欲 的な 人 勉強が好きだった 子どもの躾に厳しかった 教育勢心だった	とてもそう 48.1 (38.5) 30.9 (35.6) 24.9 (38.2) 29.1 (18.7) 12.5 (18.8)	全然そうでない 1.5 (2.9) 4.3 (1.9) 7.2 (2.9) 5.1 (6.9) 8.9 (7.7)
寸ともの躾に厳しかった 教育熱心だった	29.1 (18.7) 12.5 (18.8)	5.1 (6.9) 8.9 (7.7)
モダンで自由な考えをもった人	7.6 (14.2)	19.5 (17.9)

8) 母親の人柄

をできたんとやる伝統的な母親 職業に専念していた 子どもの意志を尊重するタイプ 意欲的な人 子どもの躾に厳しかった 教育熱心 も強が好きだった モダンで自由な考えをもった人
0.5 (14.2) 12.1 (15.5)

9) 両親の女性観

(イ) 女性が高学歴をもつことについて

	とても賛成	どちらでもない
父	11.5 (73.6)(48.6)	53. 1
母	10.9 (82.6)(45.5)	54. 2

(ロ) 女性が一生仕事をもつことについて

	とても賛成	どちらでもない
父	14.6 (60.2)(30.1)	41.3
母	17.9 (62.8)(44.8)	38, 4

10) 両親が望んでいたこと

	父	母
専業主婦として暮らす	33.7 (15.1)	26.9 (7.6)
家でできるような仕事をしながら主婦業中心	22.8 (12.5)	27.5 (9.4)
無理のない仕事で家庭と仕事を両立	37.5 (51.4)	40.0 (60.1)
高度の専門職につくことを第一に考える	6.0 (21.0)	5.5 (22.9)

11) 卒業した高校

全日制 81.5 定時制 16.4 通信制 2.1	普通科 商業科 家政科 農業科	59. 4 16. 3 19. 1 3. 6
---------------------------------	--------------------------	---------------------------------

12) 成 績

小学校卒業頃 トップクラス 中 の 上 中	9. 1 (72. 3) 27. 0 38. 7	(63.5)
--------------------------------	--------------------------------	--------

13) 小学校5,6年のころのタイプ (とても,ややを含めて)

リーダー格	27. 4	(64.0)	(61.7)
負けず嫌い	45. 0	(70.5)	(68.2)
理 数 系	26. 7	(64.2)	(46.9)
力 型	29. 4	(61.4)	(51.5)
女らしい	39. 6	(24.8)	(24.0)

C)子どもに対する期待 14)自分は教育熱心な親か

かなり一熱心 わりと	24. 7	(46.8)	(28.7)
普 通 あまり熱心でない 放任している方 そ の 他	59. 1 9. 7 0. 8 5. 7	(34.0) (16.0) (3.2)	(24.9)

15) 教育期待

16) 自分の子育ての成否(第1子).

性格 5.5 (13.6) (2.0) 19.3 (41.8) (31.3) 24.8 (55.4) (32.3) 学力 4.1 (16.8) (4.0) 24.8 (46.9) (40.9) 48.9 (63.7) (44.9) 体力 11.1 (18.7) (7.6) 24.8 (30.2) (31.4) 35.9 (48.9) (39.0)			非常に	こすぐれる	ている	まあ	すぐれて	いる		計	
健康 17.5 (31.7) (18.7) 24.9 (30.6) (33.6) 42.4 (63.3) (52.3)	学	カ	5. 5 4. 1 11. I	(13.6) (16.8) (18.7)	(2.0) (4.0) (7.6)	19. 3 24. 8 24. 8	(41.8) (46.9) (30.2)	(31.3) (40.9) (31.4)	48. 9 35. 9	(63.7) (48.9)	(44.9) (39.0)

17) どのような職業につかせたいか

		男の子に		女の子に
とくにむずかしい専門職業	9.1 (90.9) (62.7)	3.1	(88.5) (48.0)
大学を卒業すればなれる職業	34. 4		32. 5	(一般的OL)
特別の技術を身につける職業	17.1		34.6	
才能を生かした職業	24.1		24.7	
商業、農業など親のあとをつぐ	11.3		1.3	
その他	4.0		3.9	

D) 現代主婦の育児型

18) 子どもが幼い頃に職をもつ女性はどうすべきか 20) 祖母による育児

完全に仕事をやめるべき	59.5 (16.2)	(23.0)
仕事をへらすべき	15.8 (48.7)	(18.5)
保育所に預けても継続すべき	10.0 (35.1)	(58.5)
その他	14. 7	

保育所や他人よりおばあちゃんに	15.6 (17.4)(13.8)
おばあちゃんによる	52.3 (65.8)(57.7)
おばあちゃんより保育所か他人に	17.8 (16.8) (28.5)
その他	14. 3

19) 集団保育の是非

いい保育所があれば			
0歳からでも可	6.5	(35.9)	(45.1)
1歳位からなら可	2.0	(4.0)	(11.0)
2歳位からなら可	4.6	(3.5)	(6.9)
3 歳位からなら可	46. 4	(24.7)	(20.1)
子どもによる	29. 5	(31.8)	(16.0)
その他	11.0		
	0歳からでも可1歳位からなら可2歳位からなら可3歳位からなら可子どもによる	0歳からでも可6.51歳位からなら可2.02歳位からなら可4.63歳位からなら可46.4子どもによる29.5	0歳からでも可 6.5 (35.9) 1歳位からなら可 2.0 (4.0) 2歳位からなら可 4.6 (3.5) 3歳位からなら可 46.4 (24.7) 子どもによる 29.5 (31.8)

21) 結婚と職業について

結婚後仕事をやめるかパートに	47.1 (8.6)(5.5)
夫に多少負担をかけても頑張って 職業的達成を目ざして	23.0 (24.9)(40.0)
結婚相手の選択に際して自分の 仕事の継続が可能な相手を選 ぶべき	16.9 (66.5)(54.5)

まとめ

今回の結果を、高学歴女性の場合とあわせて考える と,

- 1) 一般主婦群は、家事を中心に考える家庭に生ま れ育ち、とくに女子に高い望みや期待を両親から 受けていない。したがって自分の娘にも、高学歴 や専門職に就かせることに余り期待していない。
- 2) 主婦群自身の小学校卒業頃の成績は,3分の2 が中程度であり、「女らしい」タイプのものが専門 職群にくらべて勝っていた。
- 3) 主婦群の教育期待は, 男子は大学, 女子は短大 ・ 高校を希望し、就職への期待は、男子にはサラ

リーマンと才能的職業、女子には一般的OL、技 術的職業、才能的職業である。

- 4) 主婦群の育児観として、子どもが幼い頃には、 仕事をやめて家庭に入り、子育てに専念しようと 考え、3歳児以前の早期の集団保育には否定的で、 娘に一生仕事を継続して欲しいという期待も示さ れていない。
- 5) ただし、専門職群では、両親とも知的水準が高 く、本人も能力的に優れていることがデータより 推定されるので、そうした条件の差は、以上の結 果を考える際に勘案しなければならない。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用 論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



まとめ

今回の結果を,高学歴女性の場合とあわせて考えると,

- 1)一般主婦群は、家事を中心に考える家庭に生まれ育ち、とくに女子に高い望みや期待を両親から受けていない。したがって自分の娘にも、高学歴や専門職に就かせることに余り期待していない。
- 2)主婦群自身の小学校卒業頃の成績は,3分の2が中程度であり、「女らしい」タイプのものが専門職群にくらべて勝っていた。
- 3)主婦群の教育期待は,男子は大学,女子は短大・高校を希望し,就職への期待は,男子にはサラリーマンと才能的職業,女子には一般的 OL,技術的職業,才能的職業である。
- 4)主婦群の育児観として,子どもが幼い頃には,仕事をやめて家庭に入り,子育てに専念しようと考え,3 歳児以前の早期の集団保育には否定的で,娘に一生仕事を継続して欲しいという期待も示されていない。
- 5) ただし,専門職群では,両親とも知的水準が高く,本人も能力的に優れていることがデータより推定されるので,そうした条件の差は,以上の結果を考える際に勘案しなければならない。